

# 慢性疾患等在宅療養者支援のための 在宅モニタリングに基づくテレナーシングの開発



氏名 亀井 智子

所属 看護学研究科 老年看護学

役職 教授

URL 老年看護学研究室HP

<https://gerontological-nursing.net/greeting/>

研究分野 高齢者看護, 在宅ケア, 遠隔看護

- ・在宅療養者へのテレナーシングに関する研究
- ・テレナーシング実践開発に関する研究

## ◆ 研究シーズの概要 ◆

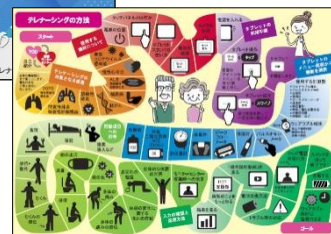
テレナーシングは遠隔医療の一部であり、ICTを用いた看護の提供方法です。2018年に遠隔診療(オンライン診療)に診療報酬化が開始され、COVID-19感染拡大に伴い、遠隔医療が急速に推進されています。また、在宅酸素療法指導管理料に遠隔モニタリング加算が新設され、COPD在宅療養者への遠隔モニタリングについても診療報酬が算定可能となりました。

在宅ケアを必要とする人々の生活を支えるためには、地域包括ケアのもと、多機関が連携・協働する必要があります。しかし、地域の保健医療人材には限りがあるため、ICTの力を在宅ケアに取り入れていくことで、よりきめ細かく持続的なケアを行うことが可能となります。

在宅モニタリングを併用したテレナーシングを提供することで、早期の病状変化をとらえ、重篤化を防ぎ、きめ細かくセルフケアを支えることができます。テレナーシングの開発により、慢性疾患等をもつ在宅療養者が安定した生活を送ることが可能になります。



テレナーシング  
実践プロトコル



利用者用のテレナーシング導入教材例

## ◆ 共同研究・受託研究のご提案 ◆

- AI技術を活用した在宅モニタリングデータの解析モデルに関する研究
- IoTとテレナーシングシステムの連携技術開発に関する研究
- テレナーシングセンターのネットワーク化と教育、普及促進に関する研究

## ◆ アピールポイント ◆

- テレナーシングの実践、教育、研究を行うテレナーシングセンターは、国内看護系大学で唯一のものです。
- 現在テレナーシング普及のために、e-learning教材開発を行い、看護プロトコルを作成し、ガイドライン化を終えました。セミナーを開催してテレナーシングの普及を推進しています。